

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	「ゼノ」こぼと園		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 27日		～ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	139人	(回答者数) 103人
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 26人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達部門、難聴部門を併設しています。	・低年齢からの発達検査、きこえの検査等を実施して、子どもの状態や課題の把握を行っています。職員全体で、発達面、きこえの面での研修や情報共有を図っています。	・さまざまな部門や療育体制がある中で、お互いのことを知りあえる機会や視野を広げられる機会を大切にしていきます。聴覚情報処理障害や聴覚過敏などの心配についても、適切な対応を行えるように、研修を進めていきます。
2	・こんな子どもに育てたいという願いをもって、療育に取り組んでいます。 「人がだいすき！ 自分がだいすき！ 遊ぶのだいすき！ お話だいすき！」	・子どもの発達や興味関心にあわせて、遊びや活動を考えて取り組んでいます。子どもたちと笑いあう、子どもらしく感情を出して関わりあう、のびのびと遊ぶ（自然の中にも出かける）ことなどを大切にしています。	・個々に応じた取り組みを進めていくために、職員間の日常的なコミュニケーションを大切に、学習や研修、他施設との交流などの機会に積極的に参加し、職員の専門性や力量を高めていけるように努めていきます。
3	・親子通園を通しての取り組みを行っています。	・日常の療育の中で、親子で一緒に遊び、関わることを大切にしています。また、療育後に保護者と職員での懇談の時間を設け、子どもの捉え方や関わり方などについても一緒に考えています。	・就労等も含めた社会状況、家庭状況がある中で、親子通園の難しさも生じてきています。親子通園のよさと保護者の方の負担も考えながら、園としてできることや対応も考えていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・複雑な建物構造と老朽化があり、子どもたちにとってわかりにくい。死角が生じやすい。	・難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い、増築、改築を重ねているためです。特に、保護者懇談時の保育の時間には、子どもたちの動きによっては死角が生じやすくなっています。	・子どもや保護者の方に安心して通園し、安全に過ごしてもらうために、日々、職員体制等を確認、検討しています。危険が想定される場面や場所、子どもの行動については、定期的にも職員全体で確認し、改善と対応に努めていきます。
2	・安全計画や事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成していますが、保護者への周知が十分できていません。	・火事の時の避難訓練等は定期的には実施していますが、子どもも含めた地震や防犯時の訓練等は実施できていません。マニュアルについての周知も不十分です。	・マニュアルの周知ができるよう、所定の位置にマニュアルを設置するなどの工夫を行います。安全計画等に基づいて、訓練等の計画と実施を進めていきます。
3	・地域の中での交流等の機会等を作ることができていません。	・駐車場からの通園時などには地域の人や派出所の職員の方との接点もありますが、園として、交流の機会等を作ることができていません。	・地域の中での交流をどのように考えていくとよいか、職員間での相談や、地域の方と相談できる場作りなども検討していきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 「ゼノ」こぼと園		職員数30名 回答数26名 割合87%		公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	5	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋が狭いと感じる時もあるが、人数や活動内容によってどの部屋を使うか調整している。 ・動く活動は、部屋の広さを利用して考える。 ・教材が刺激にならないよう、配置に気を付けている。 ・かたづけを心がけるなど、環境の整理をする。 ・発達障がいと聴覚障がい、それぞれの障がい特性に応じた環境整備（生活空間など）がさらに必要と思われる。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	9	<ul style="list-style-type: none"> ・基準は満たしているが、子どもの状態を考えると足りてないと感じる。 ・産休・育休等で職員の不足がある。 ・保護者懇談時の保育も含めて、足りないところには、直接処遇職員以外の職員も合わせた園内全体で調整して職員配置をしている。 ・体調不良、出張や研修等が重なると職員体制を苦勞する時もある。 ・集団療育時に単独児が多い場合は、職員の応援を要請している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○建物基準などは法令を遵守しているが、築47年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設の基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため、複雑な建物構造になっている。死角もあり、見通しの持ちにくい建物構造なので、安全性に気を付け、できる限り、子どもにとって見通しが持ちやすいように手掛かりや働きかけを行い、整理され、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努める（2020年春、門扉を作ってスペースを分かりやすくした）。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	18	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴児や発達課題のある子など、さまざまな子どもが通っており、通園の頻度も様々で、全ての子に合わせた環境作りが難しいところがある。 ・建物の造りが古いため、階段や死角などが多く、身体障害のある方にとっては移動が不便。バリアフリー化は十分にはされていない。 ・必要に迫られて増改築してきた経過があるため、その時々では最大限の工夫をしてはいるものの、子どもにはわかりにくい構造になっている。施設整備の中で、「いかに子どもに分かりやすい環境にするか」は大きなポイントとなる。 ・子ども用トイレも使いやすくなればよい。 ・教材や図書、資料等の収納スペースも不足している。 ・正面玄関門扉の施設・階段移動など、子どもの状態によっては保護者の対応の難しさがあるため、必要に応じて職員が手伝うようにしている。 ・危険な箇所等は朝会や終礼で情報を全体で把握し、早い対応を心がけている。 ・さまざまな課題に対して、出来る限りの対応はしているが限界もある。今後、施設整備をすすめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度より、児童発達支援事業所「第2こぼと園」を「ゼノ」こぼと園に統合し、児童発達支援では『難聴部門と発達部門』『園児と準園児』の体制で療育を進めている。『園児』は集団療育と個別療育を行い、『発達部門の準園児』は集団療育を行っている。 部門（難聴・発達・相談）や療育形態（集団療育・個別療育・親子通園・毎日・併行など）、年齢（0歳～就学前）や状態、療育内容などが複雑なので、職員同士事前の打ち合わせをし、訓練室や検査室等の使用を調整している。 ○職員の配置基準は大きく上回っているが、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要である。また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしているが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	11	<ul style="list-style-type: none"> ・死角となる場所があるため、集団療育でマンツーマンで職員が対応しにくいといけなくなると、人手が足りなくなる。 ・老朽化で限界があるが、清潔な環境づくりのための清掃、危険箇所の把握と改善に努めている。 ・床が滑りやすい。子ども、大人ともに、シューズを履くなどの対応もしている。 ・水回りなど、掃除が行き届かず不衛生になっている時がある。 ・教材やおもちゃの使用状況によって、洗浄や消毒などの対応を心がけている。 ・定期的な環境整備を職員全体でしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場などに挙げていく必要がある。 ○危険箇所に気づいたらすぐに対応し、清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。 ○施設の老朽化のため、新園舎整備に向けて計画をすすめている。増加し多様化している地域のニーズに応えられる施設整備を目指している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	6	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンの部屋として決めているわけではないが、子どもの状態にあわせて、柔軟に対応できるように工夫はしている。場所によっては確保が難しい所もある。 ・部屋が固定されてないので見通しが持ちにくい。慣れるまで、集団での活動に参加しにくい場合もある。 ・日によって、グループ数、個別療育や相談ケースの入り方が違うため、部屋の数不足する時がある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での話し合いなどを意識的に行っているが、業務時間内に担当間での時間をとりにくい状況がある。十分ではないが、計画的に時間をとるように努めている。 ・日々の気がついたことを、朝会や終礼で確認して情報共有している。 ・定期的な職員会議で療育についての振り返りを全体で行い、ICT機器を使い記録し、全体への周知を図っている。 ・ネットの活用などを進めているが、職員同士で直接コミュニケーションする場が少ないことで、職員間の情報共有や相互理解が乏しくなる状況も生じており、今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議等の場で全体の状況把握や意見の集約を図る。 ○職員間のコミュニケーションが必要に応じて図っていくように、計画的に業務を進める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	2	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園、保護者懇談、月1回の保護者会役員会の中で保護者の方々のご要望やご意見の把握を行い、必要な対応を行っている。行事を実施するごとに感想をだしてもらい、改善に繋げている。事業所評価にあわせて、役員会を通した園独自の保護者からのご意見の把握の場を年1回ずつ設けている。 ・保護者向け評価の結果は職員間で共有している。 ・療育の意義を納得してもらおう職員の力をつけることは必須と感じる。 	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	2	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な会議（日々の朝会と終礼、各部門での会議、運営会議、職員会議）、個別的面談などを行い、職員の意見を把握するよう努めている。 出された意見をふまえて検討し、必要なことは業務改善につなげるよう努めている。 日常的な職員間のコミュニケーション、職員全体での情報共有には不十分さがあり、課題である。 	<p>○引き続き、保護者との共通理解に努めながら、職員全体での共通理解、認識を図り、具体的な業務改善に向けて努力する。</p> <p>○保護者評価、事業所の自己評価に基づき、今後の改善に生かしていく。</p>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	7	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価については、現在、委員を依頼しているところであり、今後進めていきたい。 	<p>○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。</p> <p>コロナ禍以降、オンライン研修も増えているが、コロナが5類に移行後、対面での外部研修も復活するなど、研修の受け方が多様化してきている。今後も、必要な研修、今の職員の働き方にあった研修の在り方を検討し、実施していきたい。</p>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26	0	<ul style="list-style-type: none"> 研修案内が周知されるため、多くの研修に参加できる。法人内の研修（年間予定）も周知され、職員が計画的に参加できるように位置づけている。 研修係を中心に、研修報告の機会も位置づけている。しかし、内容を深めること、具体的なケース検討を通して力量を高めること、視野や視点を広げていくことなどは課題である。 自主参加の研修についても、情報を持っている人が職員に平等に伝え、学ぶ機会を保障するよう努めている。 	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	3	<ul style="list-style-type: none"> 5領域との関連を明確にした支援計画の作成を行っている。支援プログラムについては、職員間で協議をすすめて作成し、公表に至っている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にとってわかりやすい児童発達支援計画になるよう、さらに努力が必要である。長すぎる、多すぎる、ことばの使い方・選び方に工夫が必要と思う。 学期間のまとめ、担当者間での日々の話し合いや振り返りの場が大事。 各担当にまかされており、全体で検討する場が少ないのではないか。 	<p>○支援プログラムについては、2025.1.17より、「ゼノ」こぼと園ホームページにて公開している。今後も、園内での検討や、保護者や関係機関からのご意見等をふまえて、よりよい方向で取り組んでいけるように改善を進めていく。</p>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	3	<ul style="list-style-type: none"> 普段の何気ない会話の中で、子どものことをよく話し合っているとは思いますが、記録として残すという意識には弱さがある。 職員間の共通理解には課題がある。 	<p>○お子さんと保護者の方に一緒に通っていただく親子通園も大切にしながら、障がいや発達の状態に合わせ、楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように、「児童発達支援ガイドライン」に沿って次の内容で取り組んでいる。</p>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	3	<ul style="list-style-type: none"> 確認検討の場が少ない。 	<p>○「ゼノ」こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。</p> <p>①親子通園で障害や発達の状態に合わせ、集団療育と個別療育を行う。楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。</p>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	26	0		<p>難聴児に対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装着・調整・聴覚活用をすすめ、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやことば・コミュニケーションの力が育つように取り組んでいる。（発達支援）</p>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	2		<p>②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。（家族支援）</p>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	1	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループでは工夫しているが、園全体のものとなっていない。園全体で共有し、力量を高める工夫が必要である。 	<p>③関係機関との連携を行う。特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。（地域支援・保育所等訪問支援）</p>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26	0		<p>○子どもに合わせた適切な支援を行うために努力をしているが、部門の増加、ニーズの多様化による職員の役割の多重化、複雑化などのため、職員は手いっぱい状況である。職員全体で業務改善にとりくみ、よりよい支援に結びつける努力が必要である。</p>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 予測される子どもの動きや、対応について細かく打ち合わせをするようにしている。 時間がなくてできない事がある。時間を作る努力が必要。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	5	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の中での反省点や、手ごたえがあったことを日常的な会話の中で共有するようにしている。 短い時間でも話の時間をもつよう努めているが、時間をとれない、ふり返りができないことがある。十分な時間もとりにくい。 昼からの療育がある時は、時間をとりにくい。 	<p>○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせ適切に行われていると思われるが、やや経験主義に陥る、目的や意図があいまいになる、保護者と子どもの捉え方や取り組みの共有が図りにくいこともみられ、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める必要がある。</p>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	26	0	<ul style="list-style-type: none"> 記録を書く時間がないことがあり、職員で分担して行っている。 記録を書く時間帯に工夫が必要である。特に時間パート職員とのペアになると、正規職員の負担が大きいため、全体での配慮が必要。 		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	26	0			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	3	日常的に相談支援担当とケース担当が話をしているものの、それを記録に残す意識が弱い。今後は、話したことを記録していくようにする。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関（母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど）と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。 ○医療的ケア児に関しての関係機関との連携を強くするよう努め、主治医や協力医療機関との連絡体制を整備する。 ○医療的ケアが必要でない子どもについても、必要に応じて医療機関との連携、情報共有に努める。 ○併行通園している保育所、幼稚園、こども園などとの連携支援を充実させる。そのために、日常的な電話や連絡帳での連携に加えて、保育所等訪問支援事業を行うこと、療育懇談会（年1回、グループごと、公開療育と懇談会）や研修会（療育研修会・聴覚障害研修会など）を開催することなどを通して、充実を図る。コロナは5類に移行しているが、今後も感染状況をふまえながら、計画、実施をしていく。 ○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。 ○この地域の中での、他の児童発達支援センター・児童発達支援事業所・関係機関・行政等との連携や研修の場も通して、専門性と人間性を高めるように努める。 ※利用されている園児数が多いので、計画性をもって行うように努める。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	1	・市町との定期的な会議（中核機能強化、児童発達支援センター利用調整など）、ネウボラ推進課や保健指導課との連携、併行通園先の保育所幼稚園などとの連携、学校への引き継ぎなどを必要に応じて行っている。職員が総合支援業議会に参加し、必要な意見の表明、情報把握に努めている。 ・研修の機会や、ケースの連携の機会を持っている。 ・難聴の発見から療育へのつながりに関して、医療機関等によっては難しさがあるが、保健師や医療機関への啓発や支援には課題がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26	0	・併行通園先との見学をふまえた連携支援や、当園の療育見学をふまえた療育懇談会の実施は、計画的に実施している。 ・あわせて、併行通園先との必要に応じた連携を行っている。療育の頻度や通園先の変更がある場合には、年度ごとに関係する機関との連携や引き継ぎを行っている。 ・保護者対応や支援が必要なケースに関しては、併行通園先と密に連携を図り、共有することを心がけている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26	0	・電話でもふくめて就学先との連携をとり、子どもや保護者の事を理解してもらえるようにしているが、十分な実施はできていない。ケース担当者に、その時間を保障する必要がある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	25	1	・必要に応じて連携を行っている。他の児童発達支援センターや市町と連携し、地域に必要な相談や療育体制を構築している。ニーズに合わせ、他の相談支援事業所や児童発達支援事業所を対象とした連携や情報提供、研修などを行っている。 ・地域の中の協議会等（幼通協、児発連等）に役員を出している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	26	0	・聴覚障害部門、発達障害部門それぞれ年1回ずつ、外部講師をお招きして園に必要な研修を行うとともに、地域の関係機関と共同で学習をしている。 ・研修会の開催、他施設での実習など積極的に行っている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	22	4		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20	6	併行通園を基本的な通園形態としており、日常的に交流があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	1	・親子通園を基本的な療育形態としており、日常的に保護者との懇談、助言相談を行っている。 ・療育のあとに保護者支援を行い活動の狙いや子どもの状態について確認する。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25	1	・親子通園を基本としており、日常的に親子遊びや子どもの様子の観察、関り方についての助言相談を行い、保護者の気づきや学習を深めるよう努めている。 ・日々のこぼと園の療育で大事にしている。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	26	0	・入園前の説明会、入園後のガイダンスで丁寧な説明を行っている。途中入園の方には随時、説明を行っている。 ・入園児に園長から説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	26	0	子どもの行動観察、保護者からの聴取などを通して、子どもの思いを把握し、保護者と相談の上、児童発達支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	26	0	集団ではなく個別療育の日に、読み合わせをして発達段階や取り組みについての共通認識に繋げられるよう取り組んでいる。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	26	0	・親子通園を基本としており、保護者からの相談に随時対応するように努めている。集団での相談、個別での相談など、定期的に行っている。 ・保護者の状態や状況を見て必要な時に面談するようにしている。 ・来年度親子通園が減り、単独通園が増えると、保護者と話す機会が減るので、タイムリーに保護者の気持ちを聞くように努力と工夫が必要である。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24	2	・親子通園、集団療育を基本としており、同じような悩みを持つ保護者同士で交流できる機会を日常的に位置づけている。きょうだい同士の交流は多くはないが、園行事などに参加する機会を設けている。	

保護者への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21	5	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりを季節ごとに発行し、園のメール配信システムで配布している。そのほか、行事予定、通園予定なども同様のシステムで配信している。 ・ホームページが更新されていない。 ・現代の保護者の情報入手ルートを的確に把握し、HPやSNS等の活用について積極的に取り組みたい。 ・園だよりを配布している。 ・お便りを発行しているものの、余力がなくて位置づけが低くなっている。決めた時期に発行できておらず、古い日付のものを配っているのは信用にかかわる。 	<p>○保護者とは、直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図るようにしている。緊急連絡はメール配信サービス「チェックインシステム」のメールで一斉送信で行っている。保護者が閲覧したかどうか分かるシステムになっており、連絡漏れのないように努めている。</p> <p>○こぼと会（こぼと園保護者会）、療育を守る親の会などへの協力と連携を深める。</p>
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	1	職員室の机の上に、個人名の書いた書類やファイルがまだまだ散見される。	○保護者の意見をしっかり受け止め、あわせて今回の事業所評価、自己評価をもとに、園のあり方や支援のあり方を見直し、よりよいものになるように努めていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	26	0		○日常的な保護者への説明や相談に関して、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、あたたかく専門性を持った支援を行っていきけるように努める。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	12	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのため、慎重に進めている。 ・夏祭りやとんどに招待している。が、まだまだ取り組みとしては少ない。民生児童委員さんを巻き込んだ行事なども必要ではないか。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	26	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組み中。 ・不審者対応へのマニュアル作成が必要 	○想定される緊急時等のマニュアルを漏れがないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するよう努める。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	26	0	<ul style="list-style-type: none"> ・指針、避難訓練計画案を作成し、12月に避難訓練も実施した（職員）。 	○毎月の避難訓練と建物の安全管理は行っているが、毎日通園ではない子どもが多い中、避難訓練を可能な限りすべての子どもが経験できるように計画を立てていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	24	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報を共有している。 	○地震、津波を想定した避難訓練について、職員は災害時の状況を想定した訓練を行っているが、今後、園児や保護者も含めた地震や洪水、津波を想定した訓練を計画していく。不審者への対応訓練も、まずは職員が行っていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	26	0		○全国的に災害が多発している状況も踏まえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応（保護者との連絡や関係機関との連携）を図り、安全を守るよう努める。この事例が生じた時には、日々の終礼で報告し、継続して記録に残している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・係を決め、定期的に安全確認を実施している。 	○ヒヤリハット、身体拘束について生じた事例（状況や対応のあり方等）を職員間で共有し、園児の安全と権利を守っていくことができるように努めていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園内で事故が生じた時、適切な対応や説明が不十分となり、子どもや保護者の不安を強めてしまう状況が生じた。 	特に難聴の園児については、補聴器や人工内耳を装着していることやそのための配慮についても園内で周知し、安心して園での生活を送ってもらうことができるように努める必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	26	0	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼で毎日確認をしている。 	○虐待や身体拘束に関する研修を全職員で行い、日常に引き付けて考え、誰もが対処できるように取り組む。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	26	0		○虐待や権利擁護に関する研修に参加し、職員全体に周知している。今後も、年間で計画的に虐待や権利擁護、身体拘束等に関する研修参加に努め、人権意識や適切な関わりを職員全体で確認し、共有していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	1		○業務継続計画（BCP）の指針に基づいて、非常災害の発生に備えて、避難、救出等の必要な訓練も実施していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人「ゼノ」少年牧場
「ゼノ」こぼと園

保護者数139名 回答数103名 割合74%

公表日 2025年 2月 28日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86	12	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・室内、屋外に活動スペースがあり伸び伸び過ごすことができていると感じています。 ・不安定なときに離れられる部屋があるので良い。 ・現状のスペースで特に不足感を感じません。 ・遊び回れるし、親の目も行き届くのでちょうどいいと思います。 ・特に室外は乗り物も人数分あり、安心感がある。 ・工夫と配慮はあると感じます。 ・適度な広さであると思います。 ・通園する子が増えて、狭く感じる。 ・雨の日や夏など室内のみの活動になると少し狭く感じる時がある。 ・他のグループもいる時、外遊び狭く感じる。 ・雨の日の「ろけと」部屋の活動だと狭いと思う。 ・第2教室は、10人超えて走り回る子がいると狭く感じる。 ・第2教室の園庭は物足りなく感じるが、グループが去年の人数の半分になった事もあって、ゆっくりしっかりと遊べていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基準以上の活動スペースは確保されています。 ○雨天時も含めて、室内での活動時には、活動の内容によって、部屋の使い方を工夫し、子どもたちや保護者の方たちにとって、安心して分かりやすく活動できるよう環境づくりに努めます。 ○グループ（園児）や教室（準園児）の状況（定員等）により、年度途中から新しいお友だちを受け入れることがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 ○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現できるよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	68	23	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・必要数の職員配置なのではと思います。 ・適切だと思います ・いつも寄り添いながら関わってくださりありがとうございます。 ・通園する子が増えたので、少し少ないように感じる ・増やせる余裕があるのであれば、更にいる方がありがたいと思う。 ・欲を言えば、もう一人先生がいてくれたらうれしい。 ・先生2人の日は支援が行き届いてないような気がします。 ・もう1人多ければと思う時がある ・外遊びや人数が多い時はもう1人多くてもいいかなと思う時があります。 ・もう少し多いと、トラブルが回避されることもあるかなと思うことはあります。 ・年度途中から先生が1名減ったが、活動を手厚く見てもらう上で、3名いてもらえたら嬉しい。 ・昼の懇談時に子どもたちの遊び方によって、手薄な箇所が発生する場合もある。 ・適切な配置になっているとはいえ、保護者のお話の時間に自由で元気すぎる子ども達を先生お一人で見てくださいるのは先生の力量にもよると思う。新しい先生は慣れない事も多くきっと大変だと思うけど、子どもとの接し方に安心出来ます。 ・時々先生が業務などのご都合があるのかと思いますが、先生方全員いらっしゃる時があるので、できればいつも人数がいらっしゃる方がいいかと思っています。 ・職員がいつもと違うことが増えてきたり、職員が少ないためしたい活動ができないときは、職員がたりてないのかなと思う。 ・うちの子は走り回ると、ママこないで！の日があるので先生が2人の日は外に子供が出て1人で見ないといけなくてちょっとしんどいなと感じています。 ・自身のグループでは配置数は適切であるが、足りていないと感じるグループもあります。 ・子の状態やグループのまとまり具合が一時的な状況ではあったりするのかもしれないけれど、退職退職された先生の事もあってか職員の移動や人数が偏っている事に少し疑問や心配をされている保護者もいるかもしれません。(自分達のグループは特に問題を感じていません。)ただ保護者はみんな、先生達無理しないでくださいと、思っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置は、基準を大きく上回っています。しかし、難聴・発達・相談など、部門も療育形態も様々であるため、安全で質の高い支援を行うには、職員が基準以上に必要な状態です。子どもたちや保護者の方たちが安心して過ごせるよう、必要に応じて、引き続き人材の確保を行い、職員体制、保育体制づくりに努めます。 ○子どもの療育を保障するため、家族や就労の状況等で単独通園も保障していますが、そのことで全体の療育の質が低下しないよう、職員体制やとりくみのあり方を検討し、整えていくように努めます。 ○また、親子通園であり保護者との懇談を大切にしていますが、保護者懇談の時間帯に十分な保育体制をとることが継続した課題です。毎日、保育時の職員体制と配置を確認し、子どもたちと保護者の方たちが安心して過ごせるよう努めます。 ○職員の専門分野は様々ですが、どの職員も子どもを総合的に見て支援できるよう努めております。療育の中で、活動の見通しやねらい、具体的な動きなどをわかりやすく伝えていくこと、相談を受けたことに誠実に対応していくことも含めて、職員の専門性の向上に努めます。相談内容によって、担当以外の職員が対応することも可能ですので、ご相談ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	70	24	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びをすることが多いのですが、室内外ともに分かりやすい配置だと感じています。 ・整理整頓されており、子供も混乱なく過ごせている。 ・子どもたちは、どこに何があるかよく理解出来ていると思います。やりたい遊びたいタイミングの時に自分で行動を起こせる配置になっていると思います。 ・しっかりと自分の好きな物のしまっておる場所も把握しているし、必要な場所もしっかり認識して利用できていると思います。 ・遊ぶ部屋と食事をする部屋が同じなので空間は分かれていないが、遊ぶ時間、食事の時間と切り替える面では寧ろ同じ空間で良いのかと思います。 ・分かりやすいというよりは、特に物はなくシンプルな部屋になっている。 ・年中の時はあのおもちゃはどこにあるの！ってなってたけど、先生に教えてもらって今では自分であれを取ってくれとなっている。場所がバラバラでもいつも同じ場所であれば子どもは納得していると思う。 ・そのうちに慣れるけど、どの部屋ももう少し分かりやすく見やすく部屋名がパッと目に入ると思う。曜日で部屋が変わる事に対しては、未だに迷う親と子は少なくないかも。覚える為の工夫が要る。 ・部屋の配置はいいが、廊下に居るお友達が気になる状況にあります。 ・遊びも活動も同じ部屋なので、構造化されているのかどうかはよくわかりません。荷物を置く棚はもう少し広く、1人縦に1列くらい使えないと、ちゃんと整理できにくいと思います。 ・「ゼノ」こぼと園（本園）は、構造が少し複雑に感じることがあります。 ・施設に年数が経っていて、入り組んでいるので初めて来る人は移動がやや大変かもしれない。 ・限られた中なので仕方ないが、入口の関係上教室に気持ち向きにくい。(一直線で園庭に) 出入りもフェンスの通路幅が狭いので順番にこだわる子の対応や、飛び出す子どもより先に大人がまわる事が難しい時もある。このタイミングを間違えるとトラブルになる子は他にもいそう。先生方のフォローありきで助かっています。片付けに意識が向きにくいので荷物ロッカーを移動してもいいかも？ グループでタオル掛けを利用している子がいないので、ハンカチ持参でいいと思う。年少まではそれなりにみんな意識していた気もするが、タオルを掛ける所まで辿りついていない。全グループが行う片付けの習慣なら、場所がどうしても位置的に遠く視界に入らない場所なので、手洗い場まで誘導できる工夫があれば…。活動が午後になり、既に園で一度終わった事として必要無いと思っているのか、併行通園先と要領が違えば子ども達も取り入れにくいのかも。遊び以外しようとしない我が子の姿は、こういう短い時間の中でも割とやる事は多くて、他のグループは分かりませんが年長までの様子見て自発的を目指すならそのままでもいいのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○建物基準などは基準を十分満たしていますが、築47年経ち老朽化していること、また難聴幼児通園施設基準でスタートし、定員や制度の変更に伴い増築、改築を重ねているため複雑な建物構造になっています。 ○子どもの年齢や状態、療育形態も様々で、日替わりの部屋使用になります。 ○子どもの状態や必要性によって、子どもたちにとって、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに努めます。 ○部屋の見通し、絵や文字などの視覚の手がかりの活用、活動に向けての見通しや準備等について、子どもの状態や課題にあわせての働きかけや支援のあり方を検討し、とりくみます。 ○グループでの取り組み方等につきましては、引き続き率直にご意見をいただきながら、確認や検討を進めていくように努めます。 ○併せて一日も早く新しい園舎建設の計画が実現できるよう努力いたしますので、保護者の皆様のご理解をお願いします。 ○危険が想定される場面や場所、子どもの行動は、定期的に職員全体で確認し、改善と対応に努めます。日々の通園の中で危険に感じる事があれば、引き続き遠慮なくご意見ください。

		チェック項目	はい	こつともいいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	68	33	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて環境を整えられていると思います。 ・綺麗に掃除されている。 ・年季の入った建物なので仕方がないことではあるとわかっていますが、清潔ではないかと思ひます。 ・適切に環境整備をしてくださっていると思ひます。いつもありがとうございます。 ・設備は古いですが、綺麗にされていると思ひます。 ・先生方が丁寧に掃除してくださっていますが、古さから清潔に見えない場所が多いと思ひます。 ・毎年、施設の老朽化が意見として上がっており、新しいに越したことはないと思ひますが、現環境で楽しく遊ばせてもらっていると思ひます。 ・仕方がないことだと思ひますが、ちょっと年季の入った建物。 ・少し老朽化を感じる ・他の園に比べて建物に年季がはいつているような気がするので建て直しをしてもらいたい。 ・マットの劣化や、施設の老朽化が気になる。 ・マットから出てくる粉？が気になる。 ・汽車の部屋のトイレのドアが子どもでは開けられないのは問題だと思ひます ・部屋は綺麗にしてくださっていると思ひます。トイレの匂いが我が子にはきついらしく使用が難しく、最近では帰るまで我慢してしまう日がある。ハンカチを口に当てる時もあるが、毎回そうすれば行ける感じでもなさそう。 ・トイレでスリッパを履く習慣がまだ無いので、裸足でトイレへ行ってしまふことがあり、あまり衛生的に感じません。 ・懸念する部屋はもう少し片付けしてほしい。 ・古さが気になる、園庭が草ぼうぼうだった時がある。 ・建物の老朽化で致し方ないところはあつと思ひます。全体的に寒いと感じる。 ・冬は寒いです。 ・こぼと園に来たら遊ぶのイメージが強いのと、片付けの力が弱いので親の声掛けの意識も必要としたうえで…うさぎの部屋前にも下駄箱があつたらいいと思ひます。本来の出入口ではないのですが、便利な窓なので結局は出入りをするため雨ざらしだと靴が濡れる。どの部屋も下駄箱にマークがあれば子ども靴を片付けられるだろうけど、交代で部屋を利用するのでそこは少し難しいかな。個人的に年中からはハンドタオルよりハンカチを持参した方がいい気がする。(カバンの中身を出す片付けの作業としては必要。でも物理的なタオル掛け場所が遠いのもあつてあまり利用しなくなつている。幼稚園は常にハンカチをポケットに入れている。)バス待機場所のフェンスの鍵(差し込み棒)が滑りが悪くかたい。施設段階で子どもから目を離すのに危険を感じてしまふ。 	<p>○築47年経ち、老朽化が目立つ建物ですが、掃除や危険個所の把握修繕に努め、極力清潔で安全な環境づくりに配慮します。</p> <p>○寒さ対策、トイレのドア、匂い、フェンスの鍵など、できることは即時対応させていただきますので、引き続きご意見いただければと思ひます。</p> <p>○うさぎ部屋の下駄箱、ハンカチ持参等につきましては、検討を進め、子どもたちにとって過ごしやすい環境作りに努めます。</p>
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思ひますか。	83	9	2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点から支援してくれる。 ・毎回、先生からのアドバイスやフォローなど非常に参考になつています。 ・親としても勉強になります。 ・年中と年長で声掛けや対応が変わつて戸惑いがあつたが、気持ちを尊重しながら話し掛けてくださっている。 ・先生方には感謝しております。 ・子どもの様子を見ながら声をかけたり活動の提案をされていると思ひます。 ・親子通園は先生の対応を自然に意識する保護者が多いと思ひるので、こちらが支援を受けるだけの一方通行ではなく対応について話し合える先生が側にいてくださるのは心強い。 ・先生方が意図を持ったふるまいをしてくれるので、同席している保護者としても学びがあります。 ・適切な関わり方を教えてもらっていると思ひます。日常生活の中で子どもと関わりやすくなりました。 ・子の様子に変化がある時、親が悩んでいる時など、いつも寄り添つて共に考えてくださったりアドバイスを頂いています。 ・その子の子によって声のかけ方も違つたりしてとても気持ちを受け止めてくれていると思ひます。 ・先生方は大変と思ひますが、第2こぼと園が「ゼノ」こぼと園に統合されたことで、センターと同じ先生が入られ相談しやすく繋がっている安心感があります。 ・担任の先生にお伝えしています。 ・何が正解なのかよくわからないのですが、子どもは喜んで通つています。 親としては身体についての支援を希望します。 ・先生方はとても親切に子どもに接してくれているが、本人が凄く喜んで通園しているか、よくわからないと感じることもある。 ・発達部門の言語については支援されているのかどうかよくわからない。 ・言葉に関するアドバイスをされるスタッフさんがいらつしゃると助かるかと思ひます。 ・個別の面談の機会をもう少し設けて、振り返りを細かくしてもらいたい。 ・他の事業所を知らないのが難しいですが、通つていることで安心感を持つている。 	<p>○今年度より、児童発達支援事業所「第2こぼと園」を「ゼノ」こぼと園に統合し、『難聴部門と発達部門』『園児と準園児』の体制で療育に取り組んでいます。『園児』は集団療育と個別療育を行い、『発達部門の準園児』は集団療育を行っています。</p> <p>○お子さんと保護者の方に一緒に通つていただく親子通園も大切にしながら、障がいや発達の状態に合わせ、楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように、「児童発達支援ガイドライン」に沿つて次の内容で取り組んでいます。</p> <p><発達支援></p> <p>難聴のお子さんに対しては、聴力状態の把握や補聴器・人工内耳の装用・調整・聴覚活用をすすめ、またすべてのお子さんに対して、人と関わる力、経験や気持ちに根ざしたイメージやこぼ・コミュニケーションの力を育てるように取り組んでいます。</p> <p><家族支援></p> <p>親子通園、保護者懇談などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいます。</p> <p>就労や家族、きょうだいの抱える状況や課題は複雑になつてきています。家族全体を視野に入れて、少しでも安心して生活を送つていけるように、園としての相談や関係機関との連携のあり方等についても、検討していきます。</p> <p><地域支援></p> <p>保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。</p> <p>○これらガイドラインに沿つた内容で児童発達支援計画を立てていますが、一人ひとりへのより丁寧な説明を心掛けて行くよう努めます。取り組みについて、わかりにくいことや不安なことがありましたら、率直にお尋ねください。説明不足や説明の時期の遅れにつきましては、お詫びし、改善して参ります。</p> <p>○支援内容については、概ね保護者のみなさんのご理解を得ていると思ひますが、さらに丁寧な説明とニーズの把握に努めると共に、研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努めます。</p>
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思ひますか。	79	8	0	16	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの個性を大事にしながら対応されていると思ひます。 ・遊びを通じてこどもの好きや楽しいの気持ちを育ててもらえる環境だと思ひます。 ・他のお子さんには合っているかもしれないが、我が子に合っているのかはまだわからないと思ひます。 ・見たことがないのでわからない。 ・よくわかりません。 	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思ひますか。	90	6	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題ないです。 ・ありがとうございます。 ・その時々で変化のある子どもの好きな事、苦手な事、できるようになった事から関わりや療育に取り入れてくださっていると思ひます。 ・客観的な視点で作成されていると思ひます。 ・子どもだけでなく親の事も十分に理解くださり考えていただいていると思ひます。 ・個別支援計画書控えが手元に見当たらない。前期振り返り日に急遽お休みしたため、まだ、後期の目標の話し合いができていない。 ・中間評価をお渡しはしたが、それについての内容はきけてないからわからない。 	
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	80	8	0	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・子の事だけでなく、親への支援も熱心してくださっています。 ・具体的に作成されていると思ひます。 ・中間評価をお渡しはしたが、それについての内容はきけてないからわからない。 		
9	児童発達支援計画に沿つた支援が行われていると思ひますか。	82	11	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・その時その時のこどもの状態に合わせた支援を行つて頂いていると思ひます。 ・グループの中だと、他の課題点もでてくるので、なかなか計画通りにはいかないところもあると思ひます。 ・中間評価をお渡しはしたが、それについての内容はきけてないからわからない。 ・ガイドラインについて詳細の理解に至つておらず分かりかねます。 		

		チェック項目	はい	こつともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85	12	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとにまた季節によって活動内容を提案して頂いて充実感を得られていると思います。 ・子どもたちの雰囲気を見て変更してくれたり、保護者の意見も取り入れてくれている。 ・先生が上手に子どもたちの興味を汲み取り、活動に反映してもらえていると思います。 ・その日によって同じことでもやる気にバラ付きはあるが、色々な活動を計画してくさってるので楽しんでくれるように思います。 ・子どもと親の気持ちを毎回汲み取ってくださる活動でありたい。 ・今日の活動は〇〇だったからこうした、次は〇〇だからこうしようと思う。その都度グループの状況で考えて伝えてくださるので、親の方も例え内容や流れが変更になっても納得が出来ると思う。特に謎多く乱れがちなのが子には寄り添った活動を組んでくださるので、ようやく本人らしい姿が見られるようになってきた事に安心している。 ・見通しを持つ上で1日の流れをある程度固定化するのはいいと思います。いろんな種類の遊びを楽しみにこれからも通いたいと思います。 ・工夫はされていると思います。特性に応じて～の部分は、参加するかしなくていいか、したくなかったらしくなくていいよ、という感じでとらえています。 	〇「ゼノ」こぼと園ホームページにて、「支援プログラム」を2025.1.17より公開しておりますので、ぜひご確認ください。率直にご意見もいただきながら、よりよい方向で取り組みをすすめていけるように努めます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	56	14	20	13	<ul style="list-style-type: none"> ・なかったと思う。 ・交流はないと思います。 ・週5日の支援のため他に入っていないためと地域に交流する場がない状況。 ・今年度保育所の先生に来て頂きましたが、その他の予定は把握していません。 ・その内容について聞いたことないから、わかりません。 ・こども園に通っていますが、お友達との関わりが段々難しくなっているという報告あり。こぼと園ではお友達との関わりが増えてきていて真逆だなと感じています。時々近所のお兄ちゃんと遊んだりしています！ ・最初はこぼと園に比重があったけど、段々と幼稚園が合うようになってきた。 ・年長になり小学校への見直しも含め終業式や始業式、全体行事は幼稚園を優先するようにした。 ・どちらも友達に恵まれ楽しそうな姿に併行通園を楽しんでいる。 ・場所によって変わる子どもの姿に戸惑っていたが、どっちもいいなと思えるようになってきた。姿に違いあれど、どちらも友達との遊びが楽しそうで満足している様子。併行通園は大変だけどそれも親子ともに偏らない刺激になっていい環境だと思う。様々な違いを受け入れつつ本人らしさを見守ってやりたい。 	〇コロナが5類に移行後、併行通園先の各園との見学連携や支援等を行っています。 〇今後も、併行通園先と確認しながら、可能な連携や交流の在り方を探り、出来る限り実施していきたいと思っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	99	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を受けました。 ・わかりやすかったです。 	〇運営規定については、入園説明会でお伝えしています。継続の方には、入園式、あるいはそれに代わる新年度ガイダンスでご説明しております。年度途中の入園の方には、その都度お伝えしています。今後も感染状況等をふまえながら、できる限り、保護者の顔合わせや交流の機会を含めた、丁寧な説明の場を設けていきたいと思っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92	3	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかったです。 ・個別支援計画以外の計画書に目を通した記憶がないのでこの回答にしました。 	〇児童発達支援ガイドラインに沿って「児童発達支援計画（個別支援計画）」を作成し、保護者の方に分かりやすく説明できるように努めています。分かりにくい内容等がありましたら、率直にお尋ねください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88	8	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園だからこそ、常に見本となる先生が近くにいるとたくさんのおかげで多くの事に気づけます。 ・毎回保護者と先生だけでディスカッションできるので、役に立っています ・子が親に見せる表情や行動の小さな変化にも気付いてくださり伝えてくださいます。 ・事業所で学習会をしたり、外部での講座案内が届いて参加したこともあります。 ・需要が少ないかもしれませんが、家族参観のように普段最も子どもを見ているお母さんではなく、お父さんやご家族に向けた講習会があれば、是非参加してみたいなと思います。 ・少ないなあと感じています。あまり家族が参加しないので、強制ではないにしてもパパさん達もこの日は来てください！の感じでイベントや特別な療育日でなくても頻回誘って頂きたいです。 ・ペアレントトレーニングはしていないような？ 	〇保護者支援を大事に考え取り組んでいます。プログラムとしてのトレーニング的な支援は行っていません。保護者の方にとっても、当園が安心でき心地の良い場になるよう、それぞれのペースで子どもへの関わりを学べるよう取り組んでいます。 〇年間を通して、保護者教室や学習会、保護者同士の交流などを実施しています。今後も、感染状況等をふまえ、感染対策に努めながら、広い会場の確保、オンラインでの実施等も検討していきます。できる限りの保護者支援や交流の機会も計画したいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	93	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加のため、共有する機会を持つことができます。 ・そう思います。 ・兄弟利用しているが、どちらの担当の先生も丁寧に話を聞いてくださり、寄り添い関わってくださる。兄弟の問題も結局繋がっているの、家族の支援をしていただいていると実感できます。 ・兄弟利用でどちらの先生もしっかり子どもと親に寄り添っていただいている。繋がっている問題も相談しやすくなった。 ・一緒に通う子供達の保護者と共通の話題で気軽に話ができたり、子の成長を共有したりすることができる機会が毎回ありとても有意義な時間を過ごせています。 ・先生方が丁寧に向き合ってください、情報共有もしっかりして下さいます。 ・最近懇談会で普段の様子をあまり聞かれることは無くなった気がします。 	〇親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を必ず持ち、活動の意味や子どもの様子、関わり等について話し合います。 懇談の際に、わかりにくいことなどがありましたら率直にお尋ねください。共に学びあい、専門性を高めていくことができるように、努めています。 〇共に考えあったり、共有したりすることを通して、保護者が、我が子を理解し子育てに元気と見通しを持って、仲間と共に歩んでいけるように支援したいと考えています。 〇グループ療育中心の方は、個別での面談を定期的には計画できませんが、気にかかることや悩みなどは、グループでの懇談の中でも話題に出す、担当に声をかけるなどでお伝えください。できる限り、対応させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93	5	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応していただいています。 ・気になる時は電話で相談させていただいたり、個別療育の時に相談させてもらい助かってます。 ・親子療育での何気ない会話からも、熱心に考えてくださりご助言をくださっています。 ・日頃よりとても相談させていただいている。 ・来年度、個別がなくなるのが少し残念です。 	〇保護者とは、直接お話す時間、電話、連絡帳などの方法で意思疎通や情報伝達を図っています。また、緊急時などの情報伝達は、メールでの一斉送信も行います。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添った支援をして頂いています。 ・皆さん親身に対応して下さったり、小さな事で情報共有がされていると感じます。 ・泣いたり強く拒絶したりした場面で、優しく適切に寄り添ってくれてると感じます。 ・共感とともに寄り添ってくださり、母にとっても安心を頂いています。 ・子どもだけでなく保護者への対応も素晴らしいと救われています。 ・なかなか1人の子供についてしっかり見てもらうことは難しいかと思っています。 	〇来年度、発達部門の個別療育は実施しない方向となりましたが、個別面談は計画的に、かつ必要に応じて柔軟に行っています。ご理解とご協力をお願いします。	

		チェック項目	はい	こつともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	59	16	8	20	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士交流する場があり心強く思っています。 ・家族ぐるみでお世話になっている安心感があります。 ・きょうだい参加可能な行事があるのは、本人への理解や見通しにも繋がって家族にとっても嬉しい。家族ぐるみでお世話になっていると感じます。 ・家族には参観日やお祭りを通して、普段の子の様子や親子療育について知ってもらえる機会でした。グループの保護者の方々とフリートークを設けて頂き、貴重なお話を伺えました。有り難かったです。 ・もう少し増やしてもらいたいなあと思っています。 ・あまりないかなと思います。 ・参加できてないため、どちらともいえません。 ・つばめ教室なので特に父母会やきょうだいへの支援はありませんが問題ないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○こぼと園の保護者会、広島県東部地域の通園施設の保護者会（療育を守る親の会）など、グループや各園を超えたつながりがあります。保護者の方には負担をおかけする面もありますが、主旨をご理解いただき、できる範囲でご協力いただけるとありがたいです。 ○全体行事や学習会でグループを超えた交流を計画していきます。 ○毎回の療育時間の後に、保護者の懇談を実施していますが、それ以上に交流の時間や学習の時間が必要という思いがあれば、気軽に相談ください。必要に応じて、出来る範囲で企画していきたいと思えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84	4	1	14	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてそのような場を設けていただいています。 ・長男の支援相談の件で、担当の先生だけでなく、園長含め、様々な方にご対応頂き感謝しております。 ・困り事は懇談の時に皆とシェアしたり、改善策を相談出来ていると思う。 ・去年こちらがどうしたらいいのか、いっぱいいっぱいだった時にこぼとに電話で状況を伝えすぐに駆け込み迎え入れてくださった。 ・急だったので先生方にも無理が生じたかもしれませんが、向き合ってくれたことが嬉しかったです。こんな施設はそう無いと思う。 ・迅速に、また熱心に対応してくださっています。安心出来る環境を提供してくださって、ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の懇談の中では十分相談ができないこと、見通しが持ちにくいことなどについても、率直にお伝えください。できる範囲で対応させていただきます。 ○就学の段階での福祉サービス利用等については、「ゼノ」こぼと園相談支援事業所との連携も図っていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93	3	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮していただいていると思います。 ・親のタイプにもよりますが、連絡ノートがあることで相談のしやすさと吐き出しやすさ、併行通園先での共有や振り返りも出来ると思うので続けていただきたい。 ・我が子の些細な様子の変化から、子の気持ちや希望を推測できるきっかけをくださったり共に考えてくださっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○親子での通園時には直接お話をさせて頂いたり、必要に応じて電話や連絡帳での連携、相談対応も行っております。 ○突発的な状況等については、メール配信システムのデータ送信でその都度お伝えしますので、ご確認をお願いします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	75	9	2	17	<ul style="list-style-type: none"> ・把握できてません。 ・ホームページ、SNSについては、正直あまり目に触れる機会がありません。このあたりが改善されて、療育に関する情報収集がしやすくなったり、療育自体の重要性や認知の拡大に繋がればなおよいと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月の予定表や、行事や学習会の案内は、メール配信システムのデータ送信でお知らせしています。 ○社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や「こぼと園だより」を配布しています。 ○「ゼノ」少年牧場のホームページの中にこぼと園のホームページがあります。今後、ホームページ上での情報発信も検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85	4	3	11	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮されていると思います。 ・卒業生の名前を言っていたことが気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の取り扱いについては、入園時にご説明し、同意していただいております。 ○個人情報の取扱いに不安を感じてしまう状況が生じ、申し訳ありませんでした。今後、同様のことが生じないように、職員間で共通認識を図り、子どもや保護者の方の安心につながるよう、研修等も含めて、職員の質の向上に努めます。 ○お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとりながら保護者支援をしていくことに努めたいと思えます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75	7	2	19	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはあると思いますが、把握できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災対策は、毎月の避難訓練と建物の安全管理（火災報知機の点検、消火器の設置、危険個所の把握と対応など）に努めています。避難訓練については、毎日通園でない子どもが多いため、すべての子どもに経験できるように計画をたてて実施していますが、天候によって実施できなかった時の対応等については検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	71	5	2	25	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度参加した記憶がないので不明です。 ・参加したことないから、わかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波、防犯については、職員は訓練していますが、今後、園児や保護者の方も含めた、訓練を実施していけるよう計画していきます。 ○コロナウイルスは5類に移行していますが、今後もその時々々の感染状況や、国および広島県、福山市等の方針を参考にしながら、感染対策を決めていきます。感染が拡大する状況となった時には、速やかに基本的なルールを作成し、定期的に見直ししながら更新し、皆様にお伝えします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	83	8	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事故についてご意見をいただいたことにつきましては、適切な対応や説明が不十分であったことをお詫びいたします。特に難聴の園児さんについては、補聴器や人工内耳を装着していることやそのための配慮についても園内で周知し、安心して園での生活を送ってもらうことができるように努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	73	5	2	23	<ul style="list-style-type: none"> ・して頂いているとおもいますが、詳細はわかりません。 ・園内で事故に遭いましたが速やかな対応だったと思えないし、適切な対応だったとも思わない。鍵をかけることでしたが、最近にかけている姿を見ないし、普通に難聴グループの部屋に走って入り込む姿を何度も見かける。 	

		チェック項目	はい	こつともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	93	6	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもにとって大好きな場所です。 ・こぼと行くよーと言ったら、こども園の通園のようにグダグダせず、出発までがとてもスムーズです。 ・いつも楽しく登園をさせてもらっています。 ・とても先生方に身も心も預けて安心して通園できているように思う。いつもありがとうございます。 ・こぼとえんに行くのが大好きです。 ・こぼと園が大好きすぎて、保育園への行き渋りが更に加速しております！！ ・嫌がってはいないが、特別楽しそうにも見えない。 	<p>○子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続き努力していきます。</p> <p>○療育のあり方や子どもの成長について、不安を感じられる時には、担当あるいは担当以外の職員にも率直にお伝えください。よりよい方向で、保護者の方と共に取り組んでいくことができるように努めていきます。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91	6	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもにとって大好きな場所です。 ・こぼとに来ると楽しく明るく楽しそうです。 ・毎回の活動を楽しみに通園させてもらっています。 ・前日に何度も確認してきます！ ・体調不良でお休みが続くと、行きたそうにしています。 ・嫌がってはいないが、特別楽しそうにも見えない。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	88	10	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなプログラムを企画して頂いて充実感を得ながら参加しています。 ・一人ひとりのneedsに応えるのは大変だと思う。先生方のいろいろな工夫はとてもありがたいと感じる。 ・いつも感謝してます！！ ・いつもありがとうございます。 ・いつも寄り添ってくださり、親子共に安心できる場所を提供していただき本当にありがとうございます。 ・半年以上通う中で、担当する先生が変わったり突然利用の子供が増えることで環境が急に変わりすぎており、何とも言えない。 ・日々先生方には感謝しかありません。ですが先生不足が深刻な事態であると思っています。年度始めに異動となった先生の穴を埋めれていません。専門性を持った先生が増える事を願います。現在いらしゃる先生の負担も気になります。また、来年度から個別療育が無くなると説明を受けました。時代の流れで参加が難しい保護者もたくさんおられるとおもいますが、今まで個別療育で伸びてきた我が子を見てきた経緯があります。また個別療育の必要性を今までこぼと園から教えて頂いていました。こぼと園を選ぶにあたって、グループだけではなく、個別療育はとても魅力的でした。その個別療育が無くなるのが、残念でなりません。子供が犠牲にならないか心配です。 	